

研究課題名	当院における胃癌に対する手術治療成績の検討
研究責任者名	東広島医療センター乳腺・内分泌外科 原 みひな
研究期間	院長許可日～ 2026年3月31日
対象者	2024年4月1日から2025年8月31日の間に東広島医療センターにおいて乳がんに対し乳房部分切除術を施行した患者さん。
意義・目的	乳房部分切除後の整容性保持は、患者のQOL向上に重要な課題です。近年、Suture Scaffold法（SST）は低侵襲で整容性が高い再建手技として注目されています。当院でも2025年4月からSSTでの乳房再建を開始しています。本研究では当院の乳癌に対する乳房部分切除術の治療成績の検討を行い、治療の安全性や有効性などについて評価を行います。
方法	東広島医療センター乳腺・内分泌外科により作成される診療録情報（カルテ）を使用して研究を行います。通常の診療にて得られるデータのみで研究を行いますので、患者さんの体への負担はありません。術前データ、手術データなどを術後経過と比較検討して研究を行います。また、登録されたデータの解析結果は論文や学会発表などで公表されます。
試料・情報の管理責任者	東広島医療センター 乳腺・内分泌外科 原 みひな
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	東広島医療センター 乳腺・内分泌外科 原 みひな 住所：〒734-0041 広島県東広島市西条町寺家513 電話：082-423-2176(代表)